

## 平成 27 年度 第 3 回

### 端野まちづくり協議会開催結果について

- 日 時 平成 27 年 8 月 7 日（金）  
午前 9 時 00 分～午後 4 時 30 分（随時休憩）
- 会 場 美瑛町視察研修移動福祉バス内
- 出席者 ○協議会委員（計 9 名）  
岡村廉明会長  
小田大典委員、柴田登与志委員、沼崎栄治委員  
保里隆道委員、松崎常雄委員、水口馨委員、森谷幸弘委員  
渡辺まゆみ委員  
  
○事務局  
似内総合支所長、上銘総務課長、伊藤地域振興係長  
川合主任
- 次 第  
1.はじめに  
  
2.議 題  
  
（1）「北見市合併外部検証会議」委員の選出について  
  
（2）農村景観とまちづくりについて  
①基幹産業とまちづくり  
②地産地消による価値向上化  
③まちづくりのイメージ戦略について  
  
3.その他

## 意見交換・質疑の主な内容

1. はじめに	
事 務 局	<p>ただいまから、平成 27 年度第 3 回端野まちづくり協議会を開催いたします。はじめに岡村会長より発言を求められておりますので、岡村会長お願いいたします。</p>
岡 村 会 長	<p>本日の会議について会場の都合上、北見市自治区設置条例第 7 条第 7 項により、非公開で行いたく皆さんにお諮りします。</p> <p>本日の会議を非公開で行うことにご異議ございませんか。 (委員から異議なしの声あり)</p> <p>異議なしと認め、本日の会議は非公開で行うこととします。</p>
事 務 局	<p>それでは、ここで岡村会長よりご挨拶をいただきます。</p> <p>・・・岡村会長挨拶・・・</p> <p>続いて、行政報告をいたします。</p> <p>・・・似内総合支所長：行政報告・・・</p> <p>これからの会議の進行については、会長にお願いしたいと存じますので、よろしくをお願いいたします。</p>
岡 村 会 長	<p>それでは、会議に入ります前に会議の成立について事務局から報告がございます。</p>
事 務 局	<p>本日の出席委員数は会長を含め、15 名中 9 名でございます。</p> <p>北見市自治区設置条例第 7 条第 3 項の規程に基づき、半数以上の出席がありますので、本日の会議が成立いたしますことをご報告申し上げます。</p>
2. 議題	
岡 村 会 長	<p>次第の 2 (1) 「北見市合併外部検証会議委員の推薦について」を議題といたします。事務局から説明願います。</p>
事 務 局	<p>--- 事務局説明 ---</p>
岡 村 会 長	<p>ただいま説明のありました委員の推薦についてどのように取り計らえばよろしいか、委員のみなさんのご意見をいただきたい。</p>
委 員	<p>旧合併協議会の委員でもあった岡村会長が合併の経過等も熟知されているので岡村会長が適任者だと思います。</p>
岡 村 会 長	<p>他にご意見はございませんか。無いようですので私が引き受けたいと思います。お諮りします「北見市合併外部検証会議委員」には私、岡村を推薦する</p>

	<p>こととしてよろしいか。</p> <p>(・・・異議なしの声あり・・・)</p> <p>異議なしということでありますので私、岡村を推薦することといたします。</p> <p>次に、次第２（２）農村景観とまちづくりについて入らせていただきます。</p> <p>次第の①から③まで一括して事務局説明願います。</p>
事務局	-----事務局説明-----
岡村会長	ただいま事務局からの説明を受けましたこのことについて、ご意見等ございませんか。
委員	端野も美瑛に負けない農村景観をもっているが、美瑛のような観光力、発信力がない。どう発信していくかが課題である。
委員	農業があつての農村景観である。観光目的につくったものではなく住民の営みによる景観であることが大事であり、持続可能なものである。
委員	そのうえで観光によって発信され、移住者が増え、人口減少の抑制、活性化につながっていく循環形成が重要。
委員	農村景観の持続には、担い手対策、花嫁対策も必要である。近年では農家住宅改革があり、別世帯などの取り組みが端野でもされている。同一世帯より別世帯にした方が自分たちの生活を考えるようになる。自立を考える。
委員	常呂にあるようなウエル（農業研修者用施設）が端野にも必要。農業専用ではなく、交流ハウス、移住ハウスのようなものができれば良い。
委員	担い手対策は、農家だけではない。商工業者も同じく担い手は減少傾向である。
委員	担い手減少には、まず我々が仕事に誇りをもって自慢できるようなものにすれば、自ずと担い手はできるのではないか。自虐的にならず、カッコいいと思わず環境にすることが我々の責務。
委員	農地を守るのも良いが、収入を守るのも大事。農家がみんな金持ちなら成り手だって困らない訳だから。収入をあげることも担い手対策である。
委員	どういう魅力をつくり出すかである。
委員	美瑛の傾斜地は特有のものがある。農業としては負の要素であるが、それを長年かけ地域資源にした。農地としては平らな方が効率的だが、あえて畑総を入れていないのではないか。まちづくりとして。丘のまちとして。
委員	最終的には、美しい農村景観は農業を守っていく事が農村景観を守っていく事であり、農業を継続していくことに尽きる。そのなかでもう一つが情報発信力を高め、移住やブランド力、観光力を高め地域活性化につなげるまちなしていけば良い。
岡村会長	今回のまちづくり協議会は、初めて町外に出て視察研修を行い、その視点をもって端野のまちづくりに生かせることや参考になることをみんなで話し合うことができた。最後にみなさんに一言ずつ意見をいただきたい。

委 員	美瑛をみて、農業を活かしながら付加価値（観光）をつけており参考になった。今後の端野のまちづくりの取り組みに活かしていきたい。
委 員	近年様々な団体での視察研修が少なくなった。様々な情報はネットでも取れるが、実際に生で見て、みんなで見て、感じる事が次につながり大事なことだ。次もこうした機会を作っていくことが大事だと思う。
委 員	美瑛では景観を活かした観光が栄えている。端野も我々が今後、若い人たちに種を植えていかなければならない。時間をかけてまちをつくっていくことが大事。まちづくり協議会でのこうした研修が大事であり、今後も実施してほしい。
委 員	有意義な研修であった。美瑛に農業をやっている友人がいるが、住んでいる人たちがすばらしい地域だと自負している。そうした環境の中、農業を楽しんでいる。楽しんでいることは強い、すべてにおいて。端野もまだまだ発展する地域であり、楽しんで取り組んでいければ良いまちができる。 担い手対策も色々な出会いがあり、本州からの移住者やツーリングでの出会いなど多様な機会を作っていく事が大事。農業にはいろいろな価値がある。景観・食料生産・販売など端野も、もっと知恵を出し合って農業があるまちづくりを進めていきたい。
委 員	端野にはまだまだ良いところがたくさんある。それをどう活かしていくかは我々の知恵と行動力だと思う。行政の縦割りではダメ。住民主体のまちづくりを。こうした町外研修は非常に大事。
委 員	農村景観は端野も美瑛に負けていないが、街中の統一された町並み景観は美瑛はすばらしいものだった。町全体が一つにまとまっている。端野もこれから目玉をつくって、いかに人口を増やしていくか大きな問題だ。みんなと一緒に考え進んでいきたい。
委 員	今回の視察研修で違う視点からいうと、レストランでの料理塾研修生は滋賀県からの生徒であった。廃校舎利活用と都市との交流、若者も移住、地場農産物の活用など良い仕組みである。端野でもできればと思う。端野原産の蕎麦を活用して来年何かをやりたいと考えている。
委 員	まちづくり協議会ではじめての町外視察研修だった。非常に大事なことだ。実際に生でみんなで見る事が大事。会議の場だけではなく、こうした機会での意見交換などが重要であり、意見も多く出やすい。農村風景は彩を考えながら見せる農業に取り組んでいると感じた。端野でも協和、川向に似ている感じもある。あれだけの観光客がくる活力、情報発信力など今後のまちづくりに活かしていきたい。
岡 村 会 長	町外に出て一緒に見て、一緒に考え、一緒に食べることで委員が互いに理解しあい有機的にアイディア・考えがマッチしていき、様々なことが生まれてくる事が大事。こうしたことを続けていきたい。今回視察し、単純なものではないと感じた、そこに介在する人々の問題ではないか。一人ひとりが良いまちだと自慢できるまちにすることが大事であり、心構えを全員が持ちたい。そうしたことをどのように実現させるか、皆で考えていきたい。委員一人ひとりが種となって周りを巻き込んでやっていければ良いと考えている。

<p>事務局 委員</p>	<p>「丘のまち びえい」「絵本の里 剣淵」などまちのキャッチフレーズがあるが、端野だとどうだろうか。</p> <p>「太陽のまち たんの」・・・カントリーサインで使用。インパクトイメージが弱い。</p> <p>「カレーライスマラソンのまち」・・・近年有名になったが年に1日である。</p> <p>「のう あるまち たんの」・・・農・脳あるまち。</p> <p>「北のカタクリ たんの」・・・最東端の群生地。20年来の活動。福祉バスの名称にも。ただし守り育てており、観光イメージではない。</p> <p>「ほほえみのまち たんの」・・・一番大事なことも。インパクトは弱いが一番大事。抽象的すぎる。</p> <p>・外部を見ることも大事であるが、逆に外部の人から端野を見てもらい、意見をもらうのも大事。新たな地域資源が見つかる可能性もある。</p>
<p>岡村会長</p>	<p>他にご意見等がなければ、「農村景観とまちづくり」については以上で終わります。</p>
<p>3. その他</p>	
<p>岡村会長</p>	<p>本日の議題は、全てを終了しました。</p> <p>次に次第3のその他として、委員の皆さんから何かありませんか。なければ、事務局から他にありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>次回、協議会ではありますが、9月上旬を目途に開催したいと考えております。事務局からは以上です。</p>
<p>岡村会長</p>	<p>以上をもちまして、第3回端野まちづくり協議会を終了いたします。本日は大変お疲れ様でした。</p>